

**最近の本学の取組等について**  
**2026.1 ~ 2026.3**

## 活動報告

### 1. 松阪市と包括連携協定を締結

本学は、2025年12月24日、松阪市役所において松阪市と包括連携協定を締結しました。締結式では、本学の小畑誠学長と松阪市の竹上真人市長が協定書に署名し、両者の協力関係を確認しました。

本協定は、松阪市の子どもたちへの教育体験の提供や、防災・危機管理など地域課題の解決を目的としています。締結にあたり小畑学長は「本学と松阪市との協定が、地域連携のモデルケースとなるよう、積極的に取り組んでいきたい」と語りました。

また、協定締結に先立ち、11月15日には松阪市の中学生18名が本学を訪れ、研究室見学や工大祭のイベントに参加するSTEAM教育体験ツアーを実施しました。

今後も本学は、地域とともに歩む取り組みを進めてまいります。



左から竹上市長、小畑学長

## 2. 「優良危険物保安事業所」として表彰されました

1月19日に昭和消防署で開催された消防表彰式典に参加し、「優良危険物保安事業所」として表彰を受けました。

本表彰は、危険物管理施設の適切な保守管理と、長年にわたる安全な運用が高く評価されたものです。式典では昭和消防署長より表彰状が授与され、本学の安全管理に対する取り組みが地域社会から認められました。

今後も地域との連携をさらに深め、安全衛生管理活動を一層推進してまいります。



### 3. 「サイエンスアゴラ in 愛知～ものづくりと私たちの未来～」を開催

名古屋工業大学にて「サイエンスアゴラ in 愛知 ～ものづくりと私たちの未来～」を開催しました。本イベントは、地域の産業や生活に関わる「ものづくり」をテーマに、講演とワークショップを通じて幅広い世代が科学と社会の未来について考える場として実施されました。多くの地域住民、学生、研究者が集い、科学技術と社会のつながりを体感する一日となりました。当日は、小学生から高齢者まで幅広い世代の来場があり、家族連れの様も多く見られました。

日時：2025年12月14日（日）12：15～16：00

場所：名古屋工業大学 NITech ホール

内容：

・ 第一部：オープニング・基調講演

「デジタルネイチャーについて」 筑波大学 デジタルネイチャー開発研究センター長 落合陽一氏

・ 第二部：ワークショップ

電気・機械工学類の佐野明人教授、岩本悠宏准教授、齋木悠准教授、物理工学類の佐藤尚教授、宮川鈴衣奈助教、社会工学類の北川啓介教授による6つのワークショップを実施。

歩行を助ける装置づくり、柔らかい磁石を使ったおもちゃ、小さな燃焼器を使った実験、未来の金属材料、レーザー加工によるナノ構造の応用、身近な材料を使った住居のデザインなど、多様なテーマが取り上げられました。



講演会



ワークショップ内容を記録したグラフィック

#### 4. 「内閣府理工チャレンジプログラム」のモデルとしてダイバーシティ推進センターの取り組みが紹介されました

「内閣府理工チャレンジプログラム（リコチャレ!）」は女子中高生等が、理工系分野に興味・関心を持ち、将来の自分をしっかりイメージして進路選択することを応援するため、2005年より内閣府男女共同参画局が中心となって行っている取組です。

今回、本学は先進的な取組をしている「モデルケース校」として内閣府男女共同参画局ホームページに掲載されました。

本学ダイバーシティ推進センターが中心となり、女子中高生の進路選択支援を目的とした「工学の扉を開こう」という取組を推進していることや、プログラミング体験講座「モノづくりチャレンジ」などのイベント実施、公式ウェブサイトで多数のロールモデルを紹介していることが評価されています。[\(理工チャレンジ（リコチャレ） | 内閣府男女共同参画局\)](#)

理工系分野に  
チャレンジする  
女子生徒を  
応援します!

## 理工チャレンジ プログラム(モデル)

Riko Challenge Program Model

**大学・高専が実施する女子生徒等の  
理工系分野への進路選択を促進する取組を応援します!**

政府では、女子中高生等が、理工系分野に興味・関心を持ち、将来の自分をイメージして進路選択(チャレンジ)することを応援するため、内閣府男女共同参画局が中心となって「理工チャレンジ」を行っています。

今後、女子生徒等の理工系分野への進路選択を促進させていくためには、各地域における「理工チャレンジプログラム」(女子生徒等の理工系分野への進路選択を促進するためのイベント形式で実施される取組)の実施数を増加させていくことが重要です。

そこで、各地域の大学・高専向けに、理工チャレンジプログラムの具体的な実施内容や実施手順の事例を示した「理工チャレンジプログラム(モデル)」を作成しました。各大学・高専におかれましては、本資料を参考に、ぜひ、理工チャレンジプログラムの実施に取り組んでいただくと幸いです。

詳しくは  
こちらをご覧ください

理工チャレンジ  
プログラムの内容  
(抜粋)

理工チャレンジプログラムをする意義・  
学校経営上のメリット

理工チャレンジプログラムの  
企画・周知・広報、  
準備・当日運営

「リコチャレ」  
の紹介

モデルケース校の  
取組内容・工夫

担当者対談

**ダウンロードはこちら**

理工チャレンジプログラム(モデル)は、右記のリコチャレホームページにてダウンロードいただけます。

理工  
リコチャレ  
チャレンジ  
～女子中高生、女子学生の理工系分野への選択～

## 5. 第48回技能五輪国際大会に、本学から日本代表選手とエキスパートが選出されました！

### 日本代表選手（サイバーセキュリティ職種）

工学専攻 ネットワークプログラム 東政澄  
同 佐藤優樹

### エキスパート（工業デザイン技術職種）

創造工学教育推進センター 井上雅弘講師（元 本学教授）

技能五輪国際大会は、青年技能者（原則22歳以下（一部の職種は25歳以下））を対象に、技能競技を通じ、参加国・地域の職業訓練の振興及び技能水準の向上を図るとともに、国際交流と親善を目的に隔年で開催されています。幅広い職種を対象とする唯一の世界レベルの技能競技大会です。

今回代表選手として選出された2名は、毎年開催されている「情報危機管理コンテスト」において優秀な成績を収めており、その実績が高く評価された結果、日本代表としての選出につながりました。これまでに学長表彰を受けるなど、学内外で顕著な成果を挙げてきました。

また、協議運営や審査を担うエキスパートとして選任された井上講師は、社会工学類の教授として長年にわたり、工学とデザインを融合した教育・研究を推進し、本学の発展に多大な貢献をされてきました。その豊富な経験と専門性が評価され、今回の選出につながりました。



左から 小畑誠学長、佐藤優樹さん、東政澄さん



井上雅弘講師

## 6. ラジオ番組での本学の研究室紹介コーナーが来年度も継続されることが決定しました

2025年4月より、ラジオ ZIP-FM「SUPER CAST」内のオリジナルプログラムとして、本学の各研究室の教員・学生に、豊田高専出身のDJが研究内容やプライベートのインタビューを行う“TODAY'S SUPER CAST from NITech”が放送されています。

本企画は、今年度1年間に渡り放送されてきましたが、2026年度も継続されることが決定しました。

### 最近の放送

- ・ 3月2日(月)、3月9日(月) 22時32分～  
烏山昌幸准教授  
石倉雅紀さん(博士前期課程2年)  
野口柊都さん(博士前期課程2年)
- ・ 3月16日(月)、3月23日(月) 22時32分～  
神取秀樹特別教授  
古谷祐詞准教授  
伊藤侑真さん(博士前期課程2年)  
坂本達哉さん(博士前期課程2年)



名古屋工業大学様×SUPER CAST ZIP-FM 77.8

■ “名古屋工業大学” “企業” “ZIP-FM”がつながる番組  
理系男子の町田こーすけが名古屋工業大学の各ゼミ・研究室を回って教授にインタビュー！

「TODAY'S SUPER CAST from 名古屋工業大学」

名古屋工業大学の各ゼミ・研究室の教授・学生にインタビュー。  
豊田高専出身の町田こーすけがインタビュアーとして、研究内容やプライベート・人柄を深掘り！

○企画概要

- 期間  
2025年4月スタート(予定)
- 放送時間(仮)  
20:14～20:34
- 放送曜日  
月曜～木曜のうちの1曜日(週1回)

○実施番組

「みんながみんなエンターテイナー時代」をテーマに、そんなエンターテイナー達をSUPER CASTと呼び、音楽、お笑い、ゲーム、動画、デザイン、写真、ファッション料理などちよっとしたことからすこしこまでSUPER CASTを楽しく、鋭く紹介していきます！

1

参考：2025年度 企画書

## 7. ネーミングライツ契約を 12 社と締結中

本学は、教育及び研究環境の充実のための財源確保を目的に、ネーミングライツ制度を導入しています。  
現在のネーミングライツ・パートナー企業は以下の通りです。

NO.	ネーミングライツ・パートナー	建物	部屋名称	愛称	契約期間		
					開始日	～	終了日
1	セイコーエプソン株式会社	NITech Hall	ラーニング・commons	EPSON STUDIO	2024年04月01日	～	2027年03月31日
2	Sky株式会社	大学会館	大食堂	Sky Cafeteria	2024年05月01日	～	2027年04月30日
3	ゴムノイナキ株式会社	大学会館	カフェテリア食堂	5617Café	2024年07月01日	～	2027年06月30日
4	日東工業株式会社	19号館	学生交流スペース・ 自習スペース	日東工業ラウンジ	2024年08月01日	～	2027年07月31日
5	林テレンプ株式会社	51号館	5111講義室	林テレンプ Hall	2024年09月01日	～	2027年08月31日
6	CKD株式会社	52号館	学生交流スペース	CKD Lounge	2024年12月01日	～	2027年11月30日
7	名工建設株式会社	23号館	2311講義室	名工建設ROOM	2025年01月01日	～	2027年12月31日
8	株式会社J. CONSYS	24号館	2439講義室	C O N - P	2025年04月01日	～	2028年03月31日
9	富士高分子工業株式会社	52・53号館	5211講義室	FUJIPOLY Room	2025年07月01日	～	2028年06月30日
10	日本リファイン株式会社	23号館	2312講義室	Refine- Lecture Room	2025年08月01日	～	2028年07月31日
11	日本リファイン株式会社	大学会館	喫茶室	Refine-Space	2025年08月01日	～	2028年07月31日
12	愛三工業株式会社	NITechマート	ラウンジ	Aisan Lounge	2025年11月01日	～	2028年10月31日

# 活動予定

## 1. AI 共創科学フォーラム 公開シンポジウム

本学は、新たな科学研究の創出 (AI for Science) を目指し、AI 技術を基盤として、日本が強みを持つ「マテリアルサイエンス」や「ヘルスケア」、さらに中京圏の特色である「インダストリー」を融合させ、分野横断的な取り組みを推進する学内学会「AI 共創科学フォーラム (AICROSS)」を設立しました。

本シンポジウムでは、基調講演やパネル討論を通じて、最先端 AI の活用による科学の発展、研究基盤の革新、そして日本の学術研究の未来像について幅広く議論します。ぜひご参加ください。

日時：2026年3月19日(木) 13:00~17:30

場所：(シンポジウム) 本学 NITech Hall

(分科会) 同 2階 EPSON STUDIO

申込：<https://forms.office.com/r/wTDVxubWnK>

詳細：[2026年3月19日の行事予定](#)

**AI共創科学フォーラム 公開シンポジウム**

新たな科学研究の創出 (AI for Science) を目指し、AI 技術を基盤として、日本が強みを持つ「マテリアルサイエンス」や「ヘルスケア」、さらに中京圏の特色である「インダストリー」を融合させ、分野横断的な取り組みを推進する学内学会「AI 共創科学フォーラム (AICROSS)」を設立しました。本シンポジウムでは、基調講演やパネル討論を通じて、最先端 AI の活用による科学の発展、研究基盤の革新、そして日本の学術研究の未来像について幅広く議論します。

【日時】 2026年3月19日(木) 13:00~17:30  
【場所】 シンポジウム:名古屋工業大学 NITech Hall  
分科会: 同 2階 EPSON STUDIO ラーニング・コモンズ

13:00-14:50 プレセッション (AICROSS 分科会 合同発表会)  
「マテリアル」「ヘルスケア」「インダストリー」

15:00-15:05 シンポジウム開会 挨拶 名古屋工業大学長 小畑 誠

15:05-15:30 来賓ご挨拶 及び ご講演  
内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局  
参事官 (統合戦略、総合知、エネルギー・環境担当) 松田 和久

15:30-16:15 基調講演  
人工知能学会 会長 栗原 聡 (慶應義塾大学教授)

16:20-17:30 パネル討論  
パネラー: 慶應義塾大学教授 栗原 聡  
名古屋工業大学 (知能情報分野) 准教授 鳥山 昌幸  
株式会社アイシン DX 戦略センター 部長 受井 三敏  
株式会社スケン 医療・介護支援事業部 統括課長 井上 公人  
司 会: NITech AI 研究センター長 教授 加藤 昇平

主催: 名古屋工業大学 AI 共創科学フォーラム (AICROSS)  
共催: 名古屋工業大学 NITech AI 研究センター  
問合せ先: 研究支援課 産学連携室  
sanren@adm.nitech.ac.jp

プレセッション AICROSS 分科会 合同発表会 (会場: 2F ラーニング・コモンズ)

13:00-13:20 マテリアル分科会から話題提供  
知能情報分野 准教授 鳥山昌幸  
材料科学のための機械学習: データ駆動型アプローチによる予測・発見・意思決定

13:20-13:40 ヘルスケア分科会から話題提供  
メディア情報分野 教授 本谷秀堅  
悪性リンパ腫診断支援のための AI

13:40-14:00 インダストリー分科会から話題提供  
機械工学分野 准教授 前川 寛  
ものづくり DX を加速するトライボ CAE×AI 融合設計: 摩擦・摩耗の予測高精度化

14:00-14:50 AICROSS メンバー ポスター・セッション



主催: 名古屋工業大学 AI 共創科学フォーラム (AICROSS)  
共催: 名古屋工業大学 NITech AI 研究センター  
問合せ先: 研究支援課 産学連携室  
sanren@adm.nitech.ac.jp

## 2. 女子小・中学生対象 モノづくりチャレンジ

### 「第5回プログラミング体験講座：マインクラフトで花火と屋台を作ろう！」

女子児童・生徒が科学やテクノロジーに触れ、科学技術への関心や理数系の学びへの関心を高める機会として、小学4年生～中学3年生の女子児童・生徒を対象にプログラミング体験講座を開催します。

ブロックを組み合わせて家や町を作れるゲーム「マインクラフト」を使って、電気の回路やお祭りの屋台を設計します。ものづくりの「しくみを知る面白さ」と「つくる楽しさ」をどちらも体験できる講座です。

日時：2026年3月20日（金・祝） 午前の部：10：30～12：30、午後の部：14：00～16：00（二部制）

場所：Nitech Hall 2階 EPSON STUDIO（ラーニング・コモンズ）

内容：

1. エンジニア体験 ～電気回路で花火を打ち上げよう～
2. 建築家体験 ～お祭りの屋台を建築設計～

詳細・申込：<https://diversity.web.nitech.ac.jp/events/002303.html#programming>



## 学生の受賞

### 1. 硬式野球部の森恭平さんが「大学野球 2025 主務 AWARD」を受賞

受賞者：理工学科 森恭平

概要：「大学野球 2025 主務 AWARD」大学野球において欠かすことのできない選手を支える主務や学生コーチなどの学生を顕彰する目的で今年度新たに創設されたものです。

表彰式は2月23日、東京大学 伊藤国際学術研究センターにて開催されました。当日は、一次審査を通過した全国のFinalist15名が招待され、「主務」「学生コーチ」「アナリスト」の各部門からそれぞれ1名のAWARD受賞者と、準AWARD5名が発表されました。全国の大学野球関係者が見守る中、森さんは主務部門のAWARDを受賞しました。

プレゼンターは、野球解説者・評論家であり、横浜DeNAベイスターズ初代監督を務めた中畑清氏が務めました。

森さんは、選手として競技に取り組むとともに、主務としてチーム運営を担ってきました。日々の練習や試合への出場に加え、各種手続きや対外調整などの実務を通じてチームを支えてきた姿勢が高く評価され、主務部門の初代受賞者となりました。



左から 小畑誠学長、森恭平さん、加藤禎人教授(野球部部長兼監督)



プレゼンターの中畑氏(右)と記念撮影

## 2. The 21st International Conference on Advanced Data Mining and Applications 2025 “Best Poster Presentation Award”

受賞者：工学専攻 博士前期課程 知能情報プログラム 阪部武暉

受賞対象：「Dataset Construction Using Item Response Theory for Educational Machine Learning Competitions」

受賞者の研究概要については、[こちら](#)をご覧ください。



### 3. Part of the ANAC 2025 Competition “Winner (First Place) of Automated Negotiating Agents Competition 2025”

受賞者：工学専攻 博士前期課程 知能情報プログラム 阪部武暉  
情報工学科 高野利空人

受賞対象：「AlmostEqualAgent」

受賞者の研究概要については、[こちら](#)をご覧ください。



#### 4. The 12th Asian Biophysics Association Symposium “IUPAB Poster Prize”

受賞者：工学専攻 博士前期課程 創造工学プログラム 坂本達哉

受賞対象：「Analysis of Protein-Protein Interaction in Sensory Rhodopsin pSR11-pHtrII Complex by using Surface-Enhanced Infrared Absorption Spectroscopy」

受賞者の研究概要については、[こちら](#)をご覧ください。



## 5. 14th International Symposium on Organic Molecular Electronics ” Best Student Poster Award”

受賞者：工学専攻 博士前期課程 電気電子プログラム 松雪光汰

受賞対象：「Effect of Elastomer Content on the Electrical and Mechanical Properties of PEDOT:PSS/Elastomer Composites」

受賞者の研究概要については、[こちら](#)をご覧ください。

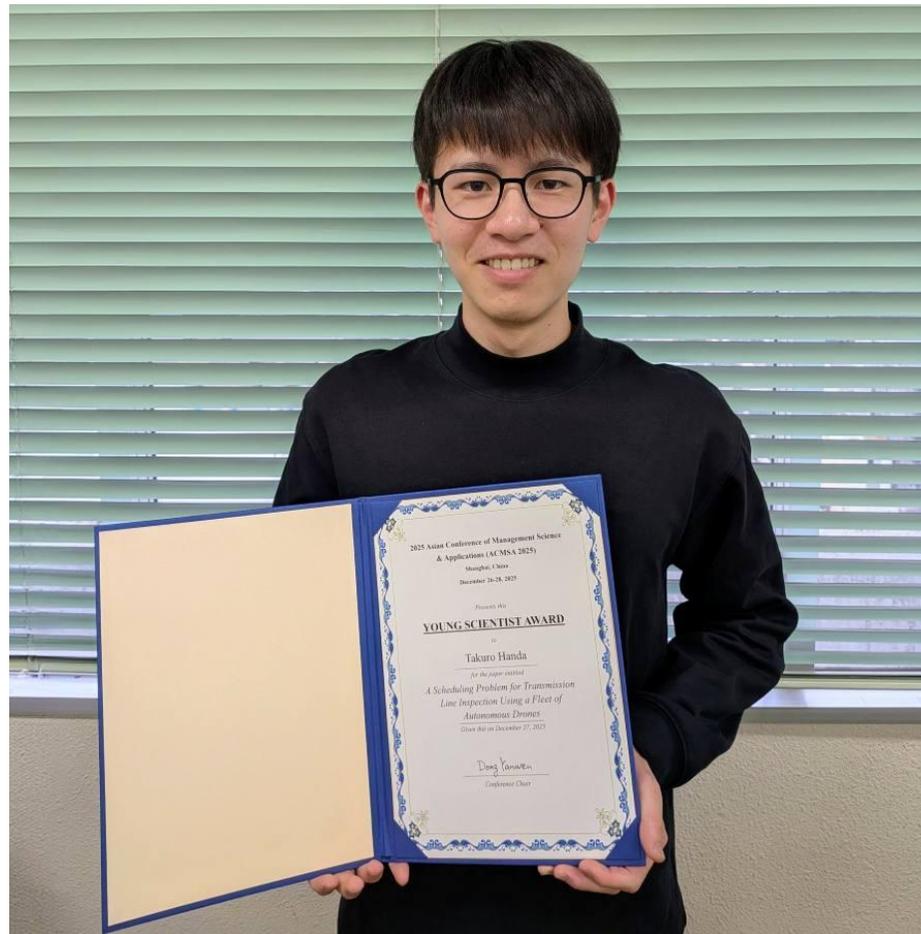


## 6. The 2025 Asian Conference of Management Science and Applications “Young Scientist Award”

受賞者：工学専攻 博士前期課程 経営システムプログラム 半田拓朗

受賞対象：「A Scheduling Problem for Transmission Line Inspection Using a Fleet of Autonomous Drones」

受賞者の研究概要については、[こちら](#)をご覧ください。



## 7. 第 29 回東海地区音声関連研究室修士論文中間発表会 優秀発表賞

受賞者：工学専攻 博士前期課程 創造工学プログラム 梅田唯花

受賞対象：「日本手話における口型アノテーションの自動化」

受賞者の研究概要については、[こちら](#)をご覧ください。

## 8. 中化連秋季大会 BCSJ 賞

受賞者：工学専攻 博士前期課程 生命・物質化学プログラム 伊藤侑真

受賞対象：「高効率内向きプロトンポンプロドプシン NsXeR の新規プロトン輸送メカニズム」

受賞者の研究概要については、[こちら](#)をご覧ください。

## 9. 日本流体力学会年会 2025 若手優秀講演表彰

受賞者：工学専攻 博士前期課程 機械工学プログラム 石川大貴

受賞対象：「DOD 型インクジェットにおける高分子溶液の伸長挙動に対する高分子濃度依存性の数値的検討」

受賞者の研究概要については、[こちら](#)をご覧ください。

## 10. 第 35 回日本 MRS 年次大会 若手奨励賞

受賞者：工学専攻 博士前期課程 応用物理プログラム 田中琉平

受賞対象：「TiO<sub>2</sub> 表面での光触媒反応に関する第一原理計算」

受賞者の研究概要については、[こちら](#)をご覧ください。

## 11. 2025 年度日本建築学会大会（九州）学術講演会 建築計画委員会 若手優秀発表賞

受賞者：工学専攻 博士前期課程 建築・デザインプログラム 林弘基  
同 加納若愛

受賞対象：林弘基「主要歩行経路における学生の注視傾向と印象 —アート作品が設置されている大学キャンパスを対象として—」  
加納若愛「建築アーカイブズ機関にみられる規模類型と連携傾向」

受賞者の研究概要については、[こちら](#)をご覧ください。

## 研究成果

### 1. 高木優准教授らの研究グループによる研究成果が、国際学術誌「[Nature Communications](#)」に掲載されました（2025年12月29日掲載）。

情報工学類 高木優 准教授らの研究グループは、音楽を聴いている際の fMRI（機能的磁気共鳴画像法）データを、Google 社が開発した音楽生成 AI 「MusicLM」に対応づけることで、聴取していた音楽に類似した楽曲の再生成が可能であることを示しました。fMRI は 1 秒ごとの計測であるため、時間とともに変化する音楽を再現することは難しいとされていますが、生成された音楽は、ジャンルや雰囲気といった基本的なカテゴリを再構成できることが確認されました。

さらに本研究では、人間の脳内における音楽の意味的表現と生成 AI モデルの内部表現との対応関係を解析し、音楽知覚の神経基盤に関する新たな知見を示しました。

本研究に関するインタビュー記事が 2 月 26 日、英国の公共放送 BBC（WEB 版）の科学・技術分野を扱う「BBC Future」に掲載され、トップページでも紹介されました。（[BBC サイト](#)）

加えて、本論文は、英国の科学メディア「New Scientist」でも紹介されるなど、AI と神経科学を融合した先端研究として国際的に注目を集めています。

## 2. 安川直樹助教らの研究グループによる研究成果が、国際学術誌「[ACS Catalysis](#)」に掲載されました（2026年1月6日掲載）。

生命・応用化学類 安川直樹 助教らの研究グループは、従来過酷な条件を必要としていた「脂肪族ニトリル化合物の脱シアノ化反応」の開発に成功し、これまでにない画期的な新規合成戦略・ホウ素ラジカルの活用法を提案しました。

本研究では、光触媒により生成させたジフェニルホウ素ラジカルの未知の反応性を活用することで、 $\alpha$  位に芳香環を持つアセトニトリル類の脱シアノ化反応を穏和な条件下で実現しました（図1）。さらに、イソニトリル化合物を出発原料とすることで、炭素-窒素結合（C-N）の開裂を伴うイソシアノ基（-NC）の脱離も効率よく進行することを見出しました。

本研究で確立された手法は、シアノ基やイソシアノ基を起点とした新たな有機合成戦略を提案するだけでなく、これまで注目されてこなかったジフェニルホウ素ラジカルの新たな化学的活用を切り拓く重要な成果です。

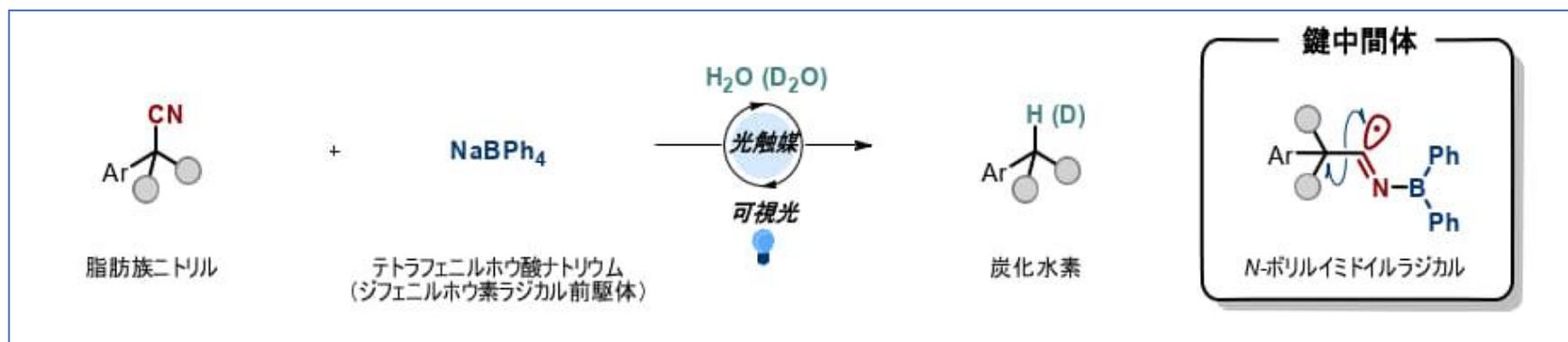


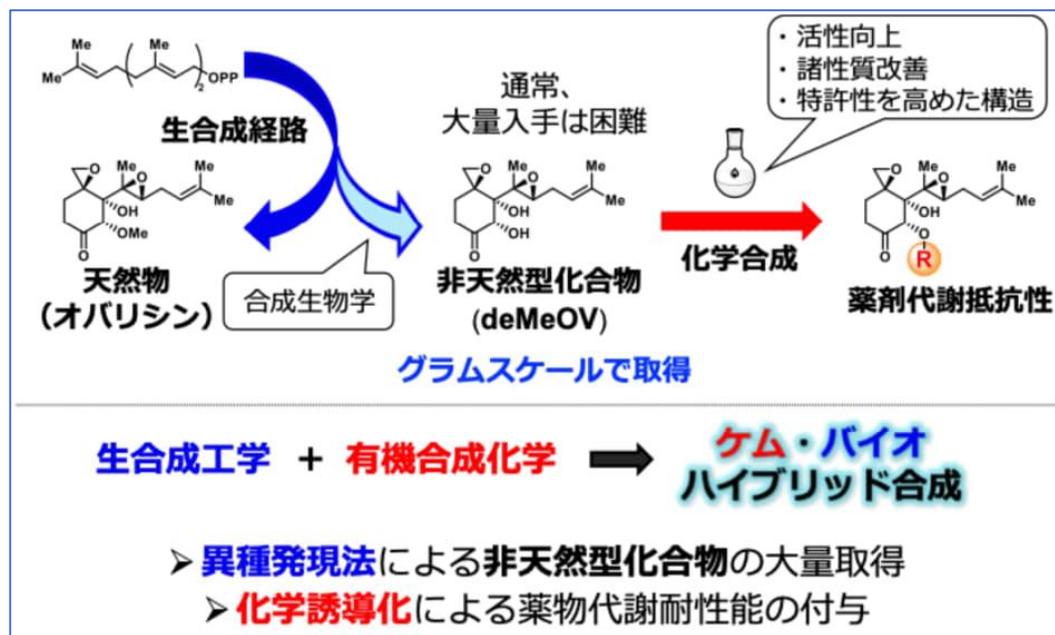
図1：本研究の合成戦略：可視光とホウ素ラジカルを組み合わせた脱（イソ）シアノ化反応

### 3. 住井裕司准教授教授らの研究グループによる研究成果が、国際学術誌「[Journal of the American Chemical Society](#)」に掲載されました（2026年2月3日掲載）。

生命・応用化学類 住井裕司 准教授らの研究グループは、微生物を利用した新しい創薬手法「ケム・バイオハイブリッド合成」を確立し、赤痢アメーバ症に対する有望な治療薬候補の創出に成功しました。

本研究グループは、赤痢アメーバに対して非常に高い活性を示す天然物「オバリシン」に着目しました。しかし、この化合物は体内で速やかに分解されてしまうため、薬として使うことが難しいという問題がありました。そこで研究グループは、微生物のオバリシン生合成機構を解明したうえで設計し直し、化学的に改変しやすい非天然型の天然物を微生物に大量に作らせるという新しいアプローチを採用しました。さらに、得られた化合物に対して必要な部分だけを化学的に修飾することで、「よく効き、分解されにくく、安全性の高い」化合物の開発を進めました。その結果、YOK24 および NS-181 という2種の化合物が、ハムスターへの皮下注射および経口投与の両方で高い治療効果を示し、病変を消失させることを確認しました。

本研究は、これまで「効くが薬にならない」とされてきた天然物を、治療薬として実際に使える形へと作り替える新しい創薬の考え方を示すものです。今回確立した手法は、赤痢アメーバ症にとどまらず、さまざまな感染症や難治性疾患に対する新薬開発へと応用できることが期待されます。



ケム・バイオハイブリッド合成による医薬品開発